

和鐵と日本刀

～ 古代～近世における日本の製鉄と鍛造から学ぶ ～

鉄鋼とその加工技術は、まさに人類史とともに歩んできた重要な技術分野です。そして、今日もなお進化し続けています。古代において、鉄鋼は工具にとって革新的な材料であり、農具、木工具、調理道具、武器などを大きく発展させました。また、日本における製鉄の生い立ちは世界的にも独特で、砂鉄から「たたら製鉄法」により銑鉄（和銑）と鉄鋼（玉鋼など）を作ってきました。それによる工具製造の中でも「日本刀」は最高級品であり、高い技術力の結晶とも言えます。本研究会では、たたら製鉄法と日本刀製法から、当時の製鉄とその鍛造の神髄を探りたいと思います。

主催：公益社団法人精密工学会 生産原論専門委員会

共催：株式会社つくりのちえ

日時：2024年5月23日(木) 13:30～17:15

会場：日本工業大学 LC センターマルチメディア教室

最寄駅：東武スカイツリーライン「東武動物公園」駅

※オンライン参加も可能です。



(写真) 大澤伊吹さんの実習風景

13:30～13:35	開会挨拶	生産技術史部会主査 日本工業大学 教授 神 雅彦 氏
13:35～14:35	講演1 古代～近世日本の製鉄技術「たたら製鉄」	和鋼博物館 館長 荒川 優司 氏
14:35～15:35	講演2 古代から現代・未来にわたる製鉄法の概観と和鉄の位置付け	日本工業大学 教授 内田 祐一 氏
15:35～15:50	<休憩・ 日本刀鑑賞 (予定) >	
15:50～16:50	講演3 日本刀の作刀とそれに込める想い (仮)	刀 匠 大野 義光 氏
16:50～17:05	講演4 「温故知新ものづくり学」での学び 一小刀製作を通じて一	日本工業大学 機械工学科3年 大澤 伊吹 さん
17:05～17:15	閉会挨拶・事務連絡	委員長 埼玉大学 教授 池野 順一 氏

参加費

当専門委員会会員：無料、共催団体：無料、互換共催団体：無料、非会員：5,000円

※オンライン参加の場合はPC接続数に限りがありますので専門委員会事務局（永野善己）にお問い合わせ下さい。(注)「会員」とは専門委員会会員を指します。学会員ではございませんのでご注意ください。

申込締切日：2024年5月16日(木)

(注) 当日キャンセルの非会員には、すでに準備に費用がかかっているため参加費を請求致します。

問合せ/申込先：当専門委員会事務局 永野善己宛

e-mail nagano.yoshiki@oyama-pc.ac.jp FAX 0285-31-1788